

☆年長 女兒

☆保護者のニーズ

- ・園でも自分を出してリラックスして過ごせるようになってほしい
- ・しかられてすねてしまうと、なかなか感情を立て直せず、親や妹のせいにして大声でしばらく叫び続けることがある
- ・園では周囲をよく見て、自分を抑えて我慢しているよう。友だちのトラブルがない反面、わがままがでてるように感じる

☆SAP 目標 子どもの目標

大人の目標

|       |                              |       |                                      |
|-------|------------------------------|-------|--------------------------------------|
| JA3.1 | ネガティブ・ポジティブな情動を共有する          | LS1.2 | ターンテイクングの機会をつくり、子どもが完成させる間を置く        |
| JA4.3 | 手助けまたは他の動作を要求する              | LS2.3 | 情動の表出と理解とを高めるために、補助的なコミュニケーション支援を用いる |
| SU1.1 | モデルの直後に身近な動作やことばを自発的に模倣する    | IS1.4 | 覚醒水準を調整するための子どもの行動方略、言語方略を認識し支える     |
| MR3.1 | 安心を求めてネガティブな情動を共有する          | IS2.1 | 非言語的あるいは言語的に選択肢を与える                  |
| SR3.1 | 一人の活動中に覚醒水準を調整するために言語方略を使用する | IS5.1 | 模倣を与える                               |

☆瀬戸山さんFBの中より 今後の方向性

- ・情報の整理が苦手、一つ一つの物を関連付けることが難しい→伝える内容を絞る  
本児の癩癩に対して→頭の中を整理してあげる 言語化し書いてあげる  
好きな遊びなど決められなくて固まる→整理する時間が必要 選択肢を絞ってあげる  
かまって欲しい気持ちの表れもある
- ・経験したことを思いついたままに話すことはアウトプットする作業になる  
→しゃべってもいい時間が分かる工夫の中で調整していく
- ・本児なりに喜んでいたりかもしれないので意図的に褒める ・役割を与える
- ・やりたくないものにも挑戦できる→好きなもの、興味がある物を使って挑戦する機会を作る
- ・困った事等、言語的な表出を促すことが情緒的なことに繋がる  
→言語的に伝わらない場面を意図的に作り、視覚的な呈示を入れながら伝えられる
- ・小集団の中での目標をどのようにたてるか？→全体的なねらい、個々のねらいを立て、結果的に何を達成させるかを考える。どんな風になってほしいか？を目標に入れる

